

活動報告

JAPAN：日本

2020年1月から12月

『あなたがたはどう思いますか。もしある人に羊が百匹いて、そのうちの一匹が迷い出たら、その人は九十九匹を山に残して、迷った一匹を捜しに出かけないでしょうか。』

－マタイの福音書18章12節

日本は長きにわたって、福音を浸透させるのが困難だと言われてきました。

未だに日本人は、世界で最も宣教が進んでいない民族の一つです。福音的なクリスチアンの割合は日本の人口のわずか0.57パーセントです。

(出自：joshuaproject.netより)

日本人の多くは、人生の中で一度もイエス・キリストについて聞いたこともありません。神の恵みによって、TWRは日本のリバイバルを望み仕えながら、マスメディアを通して福音を広め続けています。

2013年に始まったFMラジオ放送は、もともと2011年の大震災の被災者を対象としていました。

TWRジャパンは放送をさらに発展させ、放送する地方放送局を全国に増やしていきました。

私たちTWRジャパンはこの尊い働きを継続し、福音を分かち合っていきます。

献身的な日本チーム

2020年は祝福されました。神はジョナサン・チェン氏を同労者としてお送りくださいました。

チェン氏はシンガポールのインターンとして2020年8月よりTWRジャパンの働きに加わりました。

また、杉山準規氏はEMAWプログラムに参加したことがきっかけで、日本チームに加わることを決意しました。

ラジオの働き

神の恵みにより、現在FM23局から7本の聖書のラジオ番組が放送されています。

私たちの番組は16の都道府県で聞くことができます。これは全国で毎月1130万人が受信できる範囲になります。

コロナウイルスによるパンデミックの最中、特別番組「絶望から希望へ」を放送し始めました。恐れにとらわれている人たちに向けた番組で、パンデミックによる不確かさゆえに苦しんでいる人たちに希望を伝えています。主をほめたたえます。私たちの番組を放送し始めた3つの新しいFM地域ラジオ局のゆえに神に感謝します。

- ・FM佐久平（長野県長野市）
- ・FMぱるるん（茨城県水戸市）
- ・FM倉敷（岡山県倉敷市）

これらの3つのFM放送局との提携が始まったことで新たに78万人分の範囲が新たに受信可能となりました（内長野が10万人分、水戸が28万人分、倉敷が40万人分）

私たちは続けて受信範囲を拡大していきます。日本人の霊的ニーズに応えられる質の高い聖書番組を開発できるように神の導きを祈り求めています。

ひきこもりプロジェクト

ひきこもりとは一般に、社会から身を引いて閉じこもる人々のことを指す用語です。

時には自分の家族からさえも距離を置くケースもあります。

ひきこもりの人はたいていの場合、両親と暮らし両親によって養われているものの、ほとんどはいかなる社会とのつながりも断ち切ります。

同じ屋根の下に住みながら両親とのつながりさえも遮断します。

2015年と2019年に実施された国勢調査で約115万人の引きこもりがいると概算しましたが、この数字には調査が行き届かない多くの世帯が含まれていません。それを含めれば、日本には現在200万人を超える引きこもりがいると推測されています。

ひきこもりになるのは10代や若者に限りません。15歳から64歳までを占めます。年を重ねた引きこもりの人は高齢になった両親に未だに頼って世話を受けています。これはいわゆる80-50問題を引き起こします。これは、50代の息子・娘が80代になっても働き続ける親に頼って生計を立てるという問題です。

ひきこもりになって生活するようになる原因には個人差があるものの、多くは種々の社会的圧力による苦しみを通っています。

例えば、学校で良い成績を取らなければならないという圧力、就職問題、社会不安、学校でのいじめ、パワー・ハラスメント、家族の無関心などです。

これらはすべて社会的つながりを破壊し、ひきこもりが社会から身を引く結果を招きます。新しい年、TWRはこのことに関する情報収集を続け、専門家とこの問題について取り組んで理解を深め、できれば土台作りをしたいです。

調査のために行き届くことができないためひきこもりの人自身とコンタクトを取ることは困難ですが、家族に届いていくことを計画しています。ひきこもりの家族をサポートして助け、彼らに福音の希望を分かち合っていきたいです。



EVERY MAN A WARRIOR

エブリマン・ア・ウォーリーアー

Every Man a Warrior (EMAW)プログラムも開発してきました。クリスチャン男性を訓練し、聖書を基準として成功するための土台を築くことを目的としたプログラムで、津布久竜一氏が担当しています。

コロナウィルスのパンデミックのために実際に会うことができませんが、オンラインで会い、神との歩みにおいてお互いに支え合い建て上げ合うことを忠実に続けました。

特に、新しいスタッフの杉山準規氏はEMAWプログラムに参加した結果、TWRチームに加わることを決意しました。このことも神に感謝します。

杉山氏は神学校に在学中で、国際ギデオン協会のメンバーであります。自費で聖書を購入し、いつも移動しながらギデオン聖書を配布しています。このチームを建て上げ続けてくださっている神に感謝します。

ドンキートラクト宣教旅行

2014年以降、ドンキートラクト旅行という宣教旅行を25回行いました。

日本のリバイバルのために100以上もの地元の教会が協力し、延べ250人以上が短期宣教師として献身して参加しました。

過去7年間、日本に旅行して地元の教会と一緒に聖書トラクト(ヨハネの福音書、福音のマンガ、ホープナビなど)を近隣に配布して仕えました。トラクトのほかにTWRラジオ番組を宣伝し、地域教会の礼拝に関する情報を載せたチラシも配りました。

残念ながら、COVID-19のために、2020年に予定されていたすべてのドンキートラクト旅行はキャンセルとなっていました。

それでも、2020年に協力する予定だった日本の牧師たちと連絡を取り、お互いに祈り合うことができました。また先日のクリスマスでは、励ましとして「ラブボックス」プレゼントを牧師たちに送りました。



その他の活動

シンガポールでは、月例祈祷会を続けました。毎月、献身的な祈りの勇士がTWRの働きと日本のリバイバルのために集まって祈りました。

COVIDパンデミックのために直接会うことはできませんでしたが、私たちは毎月第二火曜日の午後7時(日本時間午後8時) ZOOMクラウドミーティングプログラムを通して忠実に集まりを続けました。

過去において、私たち祈りの勇士が祈っている日本の牧師たちと直接関わるができる主な機会はドンキートラクト旅行でした。

パンデミックのために2020年のドンキートラクトの計画がキャンセルになり、祈祷会をオンラインに移行したおかげで、日本の牧師たちを月例祈祷会に招待して参加していただくことができました。

このことが日本の牧師たちが自分の心にあること、ビジョン、必要を祈祷会のメンバーと分かち合う機会となり、彼らのためによりの祈りをすることができました。想定外の状況に関わらず、このような新しい機会をもたらしくださった神に感謝します。新しい年も、この祈祷会を続けたいと思います。日本のために祈って下さる勇士がさらに増えていくことを願っています。渡航制限が解除されたらドンキートラクト旅行を再開したいと思います。

ドンキートラクトのほかに、日本のユースを対象とした英語キャンプを以前行っていたことがあります。直接会って活動するという企画にチャレンジする計画を立てて、より多くの人に福音を伝えていきたいです。

現在行われている祈祷会に加え、ユースによる祈りのミニストーリーをシンガポールで始めることを祈っています。このユース祈祷会のメンバーは日本のために祈るだけでなく、自分たちで日本への宣教旅行を企画していきます。このミニストーリーは、日本のユースと関係を築いて、彼らに福音を伝えるのに役に立つと思います。このことは日本の次世代のためにとりわけ重要です。

「Christ to the World（主に会った人々）は今までに聞いたことのない内容の番組でした。他の多くの人にとっても興味を引くものだと思います。表現豊かな出演者が素晴らしいです。」 - 大阪：FMひらかた

番組のおかげでイエス・キリストについて知ることができました。」 - 熊本：熊本シティFM

「番組に多くの登場人物が出てきて、イエス・キリストと同じ時代に生きた人々の背景と意思を知ることができました。本質は現在と変わらないなと思いました。」 - 宮城県：仙台ラジオ3

「多くの石巻の人々の心がコロナウィルスのために動揺している中、TWRの番組は彼らの慰めの源となると思います。」

- 宮城県：FM石巻

「より多くの人々がラジオを聞くようになっている中、TWRの番組を聞く人もより一層増えていると思います。Christ to the Worldは聞いていてとても分かりやすく聖書がわからない人でも楽しめる内容です。音楽の選曲はとてもよく、人々に覚えられる番組であると思います。」

- 福岡：ドリームスFM

月曜日から金曜日まで、毎日ラジオ番組を楽しみにしています。母親にも紹介したいです。本当に感謝します。

- フェイスブックに届いたメッセージ

「いのちの尊さを聞けて本当に良かったです。日本では自殺が大きな問題です。『試験管から分かる真実』で、なぜ人々が自殺に心が向いてしまうのか、科学的な視点から説明していただければ嬉しいです。それから聖書を語っていただきたいです。」

- お電話でいただいたメッセージ

「主に会った人々」はまるで映画みたいで、聞いていて分かりやすかったです。日本にこのような番組がたくさんあればいいなと思いました。

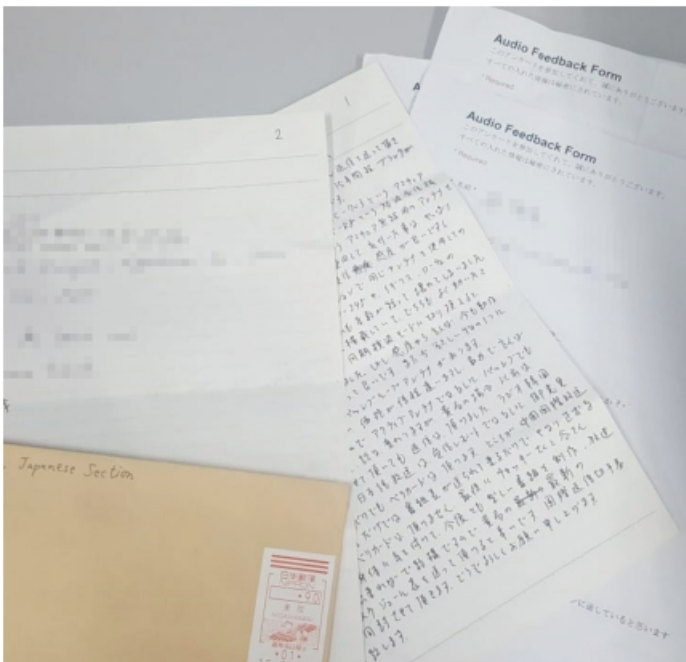
- 熊本：熊本シティFM

番組は大変すばらしく、よく理解できました。番組の脚色した部分の合間合間に説明があったからです。

- 宮城：仙台ラジオ3

現在日本に住んでいます。ペルーから来ました。神の御心のままに御目にかなうように日々、人を変え、変革し、洗いきよめる生けるみことばの放送が素晴らしいです。それゆえに感謝します。ありがとうございます。そして皆さまのメディアミニストリーが祝福されて神のことばが全世界に広まるようにお祈りします。

- 日本在住ペルー国籍のリスナーさん



祈りの課題とリクエスト

1. 日本に住む人たちが、TWRのメディアの働きを通して神のみことばに聞き、イエス・キリストを自分の主であり救い主であることを受け入れるように
2. EMAWプログラムと発足して間もないひきこもりプロジェクトの継続的な発展のために
3. ドンキートラクト旅行のために。聖書トラクトとラジオのチラシが、福音を知らない人たちの励ましとなり、彼らがキリストを知り、日本の牧師たちがそのことを通して励ましを受けるように
4. 聖書の番組をもっと放送でき、もっと多くの放送してくれるFM局が与えられるように
5. 日本の諸教会、クリスチャンがTWRジャパンの働きを喜んで支援してくださるように